

第5回甲賀市議会 議会報告会
(市民のみなさんとの意見交換会)

報 告 書

平成29年1月
甲賀市議会

報告書目次

1. はじめに	1
2. 議会報告会概要	3
3. 質疑応答、意見など	5
4. アンケート結果	9
5. 各会場の写真	17

1. はじめに

議会基本条例に基づく第5回議会報告会（市民のみなさんとの意見交換会）を1月17日（木）、18日（金）及び19日（土）の3日間にわたり、概ね中学校区の6会場で開催しました。

議会報告会は、市民に日頃の議会の活動状況を知っていただくとともにご意見やご提言を直接伺い、議会審議への活用や議会運営の改善を図りながら市民に開かれた議会をめざすために実施しているものです。参加人数は前回よりも減ったものの、合計162人の方にご参加いただきました。今回も区長会を通じてチラシの組回覧を行っていただくなどPRに力を入れるとともに、選挙権が18才からになったことから市内の高校や専門学校にも呼びかけました。また、今まで要望のあった昼間開催を水口社会福祉センターで行い、若い方々の参加は少なかったものの夜間に参加できない方々にもご参加いただくことができました。班編成については議長を除き3班で編成し、前回からのメンバーで各班2会場を担当しました。

今回の議会報告会では、9月議会で審議した平成27年度決算と平成28年度一般会計補正予算および甲賀の國づくりプロジェクトについて報告を行った後、その内容について質疑を受けました。その後、意見交換として議会運営や市政全般などについて様々なご意見・ご提言をいただきました。

参加者のアンケート結果でも、開始時間や所要時間について好評価をいただくとともに、約半数の方々からわかりやすかったとの回答をいただきました。今回は、水口社会福祉センターでの昼間開催を試みたことが大きな変更点でしたが、障がい者団体の方々や夜間のお出かけが難しい方にも参加いただくことができました。しかしながら、まだまだ若い方や女性の参加が少ないことが今後の課題です。

各会場でいただいたご意見・ご質問、アンケート等につきましては執行部へしっ

かりと伝え、議会ホームページで報告するとともに、必要な事項については次回以降の議会報告会に反映できるよう取り組んでいきます。

2. 議会報告会概要

(1) 主催：甲賀市議会

(2) 開催日時、会場、担当班、班員（議長は除く）、参加人数

日 時	会 場	班	班 員	参加 人数
平成28年 11月17日（木） 19:30～21:30	土山開発センター（大集会室）	1	◎田中新・○橋本律・片山 ・林田・小西・田中將 ・橋本恒・服部	24
	貴生川公民館（集会室）	3	◎森嶋・○安井・田中喜 ・小河・竹村・山中・辻 ・白坂・中西	21
平成28年 11月18日（金） 19:30～21:30	かふか生涯学習館（研修室）	2	◎鶴飼・○竹若・谷永 ・戎脇・森田・田中実 ・山岡・加藤・土山	21
	甲南公民館（プララ） （大会議室）	3	◎森嶋・○安井・田中喜 ・小河・竹村・山中・辻 ・白坂・中西	29
平成28年 11月19日（土） 14:00～16:00 19:30～21:30	水口社会福祉センター （ホール）	2	◎鶴飼・○竹若・谷永 ・戎脇・森田・田中実 ・山岡・加藤・土山	41
	信楽開発センター （大集会室）	1	◎田中新・○橋本律・片山 ・林田・小西・田中將 ・橋本恒・服部	26

（実際の終了時刻は会場により異なります）

（◎班長、○副班長）

(3) 報告内容等

①決算特別委員会報告

決算特別委員会で審査した平成27年度甲賀市一般会計決算につき概要を報告

②平成28年度一般会計補正予算

平成28年度一般会計補正予算の概要を報告

③甲賀の国づくりプロジェクト

甲賀の国づくりプロジェクトの概要を報告

(4) 議会報告会班長会議メンバー

◎橋本恒典・○森嶋克己・田中新人・橋本律子・鵜飼 勲・竹若茂國・安井直明

(◎代表、○副代表)

＊班長会議は議会報告会の内容や運営等を協議するために設置するもので、各班の班長・副班長と副議長とで構成されます。

3. 質疑応答、意見など

Q 1 市の決算で多くの市税を使っているが、これらは市内の業者に還流できているのか。庁舎建設に多くの車が出入りしているが、県外ナンバーの車が多いと思うがどうか。

A 大きな工事であるため、それに見合う業者でないと造れないので市内企業とジョイントで行っている。これらの工事の従事者の宿泊や食事などでも還元されていると考える。

Q 2 空き家バンク制度について、空き家率は全国で13.5%、滋賀県は12.5%であるが市は調査を行い結果は出ているのか。

A 人口を増やすため空き家活用は重要で、他府県から移住してもらうことが大切。調査結果は持っていないのでわからないが後日報告する。議会としてもこれらの計画をしっかりと把握していく。

Q 3 セーフコミュニティ事業の1,052万円は事務経費と理解しているが、国際認証を受け日本で13番目、県下初と言っているが市民に見えてこない。今後、予算段階からセーフコミュニティの事業であるとの根拠づけが市民にもわかりやすいのではないか。

A 事業の進捗率は50%との結果をいただいているが認知度は低いと理解している。ご提案も参考にしながらより普及に努めるよう市に伝える。

Q 4 地域情報化基盤整備事業について、広域災害時には有線よりも無線の方がいいのではないかと。加入率を含め経営は大丈夫か。

A 導入時に議会で十分に議論し有線となった。現在も約7億円の市の貸し付けがあり、平成28年度からは黒字計上ではあるが途中で減額されており今後も注視が必要と考えている。

Q 5 自治振興会の事業加算金については年度末に残った予算を返還しなければならないが、地域に根付いたものとするためにもこれらの予算を積み立てることはできないか。

A 今までから同様の意見を聞いており、議会としてもチェック機能を働かせ検討していく。

Q 6 道の駅のように民間活力の導入は考えておられるのか。予算を使わず知恵を使うことも大切。

A 執行部にも伝えとともに、今後の参考とさせていただく。

Q 7 飛び出せわくわく学習室作成費2,000万円はあいコムこうかの放映だと理解しているが一般家庭ではまだまだ普及しておらず学校放送での利用はどうなっているのか。

A 2,000万円は市からの委託費で学校ではDVDを活用している。

Q 8 子どものいじめについてと学力テストの結果に対して議会の中での議論をお聞きしたい。

A いじめの認知件数は年々増加しているが要因は色々ある。学力向上については先進地視察や意見交換、提案を行っている。

Q 9 新庁舎はバリアフリー化だが、他の施設はどうか。

A 新庁舎は視覚障がい者にも配慮されていると聞くが、甲南駅や甲賀大原地域市民センターについても今後、働きかけをしていく。

Q 10 小中学校のエアコン設置には電気代が心配される。教育費を圧迫することにより本来の予算が減るのではないか。

A 市では現在すべての学校で設置を検討されており、電気代については注視していく。

Q 1 1 甲賀の國づくりプロジェクトはまちづくりの根幹であるが、市民に伝える努力がされているのか。また、市長の交代により変化はあるのか。

A 國プロは市民の皆さんにも理解いただけるよう我々も努めたい。新市長の考えについてはまだ聞いていない。

Q 1 2 人口減少対策としてどのようなことを考えておられるのか。例えば世代や年収などターゲットを絞ってはどうか。

A 人口減少対策については一般質問も行っており、空き家活用、公共交通機関の利便性の向上、子育て支援などについて質問している。

Q 1 3 國づくりプロジェクトの婚活について実績を教えてください。

A 結婚相談に関する相談件数は約 2, 5 0 0 件と聞いており、平成 2 7 年度の実績は 1 8 組と聞いている。

Q 1 4 甲賀市の観光は一つになっていないのでは。忍者で売り出そうとしているが忍者を説明できる市民がいるのか、みんなができるのか情報がない。もっと発信し効果がついてくるようにすることが大切と考えるが。

A 改善するよう行政に伝える。

Q 1 5 湖南市長は SNS を使い多く発信している。人口を増やすことが大切で、ふるさと納税にもっと力を入れることが必要と考えるが。

A 新市長はふるさと納税にも力を入れると言っている。

Q 1 6 旧甲賀病院跡地利用についてはどうなっているか。

A 前市長は櫻の杜とは言われていたが具体的な構想はなかった。議論はこれからと理解している。

Q 1 7 政務活動費はどのようにされているのか。

A 甲賀市議会では政務活動費に関する申し合わせ事項があり、領収書の添付など適正に管理している。

Q 1 8 先の副市長人事は議会で否決された。反対討論もなく否決するのは問題。なぜ反対したのか。

A 議会報告会では議会として基本的に一致したことを報告しており、個々の会派や議員の発言は差し控えさせていただく。

Q 1 9 昼間の報告会の開催は感謝している。甲賀市は車なしでは生活できないとの観点から、高齢者の運転についてデマンドバスや乗り合いデマンドバス等先取りして提案してほしい。

A デマンド方式は一般質問等でも提案しており、ご意見はしっかりと伝える。

Q 2 0 土日、祝日はバスが運行していない路線もあり催しに行けない。

A 議会でもコミバスの利用については議論している。

Q 2 1 地域の子どもを守るのは先生が忙しいのでは守れないと考える。

A ご意見としてお伺いします。

4. アンケート結果

参加者の皆さまから頂いたアンケート結果では、議会報告会開催の総合評価として、「よかった」が35%で、前回（42%）に比べ厳しい評価をいただきました。「ふつう」は60%、「よくなかった」は5%という評価となりました。今後も報告などに改善を加え、より分かりやすい内容にしていく必要があります。

今回は6会場の合計人数は162人と多くの方々にご参加いただきましたが、その内初めての方が32%、2回目の方が16%、3回目の方が16%、4回目の方が21%、5回目の方が15%でした。今後も続けてご参加いただけるような魅力ある内容にしていく必要があります。

また、配布資料とスライドを用いて行った報告内容については、「分かりやすかった」が58%、「どちらともいえない」が38%、「分かりにくかった」が4%となりました。今後、さらに丁寧でわかりやすい表現での報告を心がける必要があります。

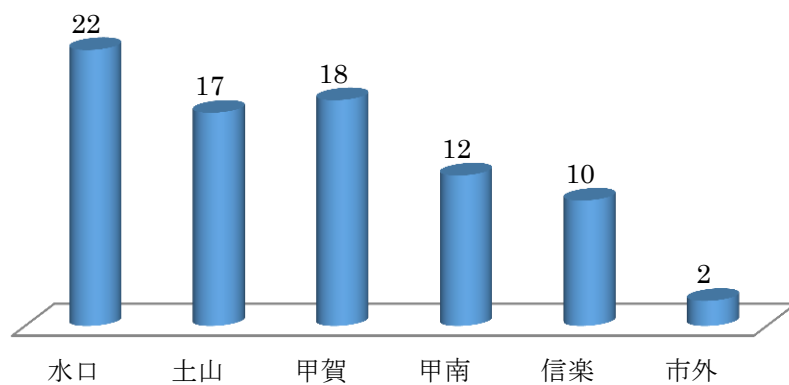
開始時間については、「よい」が85%と多くを占め、「早い」が3%、「遅い」が8%となり、昼間の開催が良いと答えた方が3%ありました。開催曜日については、「平日がよい」が47%、「土日がよい」が23%「いつでもよい」が30%でした。なお、これは夜に開催した5会場の集計で、今回、昼間に開催した水口社会福祉センターの結果は入っておりません。今回、1会場で初めて昼間に開催しましたが、より多くの市民の皆様にご参加いただくため、今後も続けていく必要があると考えます。なお、所要時間については、ほとんどの方がよいと答えておられます。

年代別では20歳代が2%、30歳代が0%、40歳代が13%、50歳代が44%、60歳代が23%、70歳以上が18%で若い方の参加が前回よりも減少しています。一方、性別では女性の方が16%とまだまだ少なく、女性や若い世代にも参加しやすい工夫が必要です。

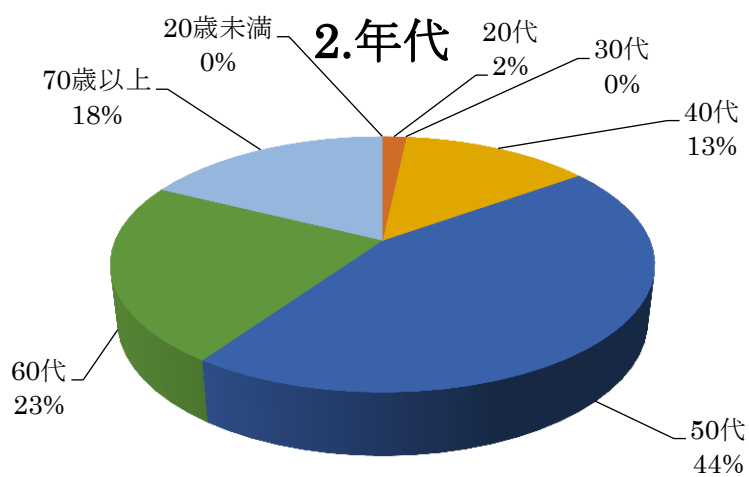
議会報告会を知ったきっかけはチラシと答えた方がいちばん多く、新聞折込と組回覧を合わせると70人ありました。その他には議会だよりが43人、知人・議員からが33人の順となっています。

以下に、アンケートの集計結果をグラフにまとめ、自由記載欄にご記入いただいたご意見などを掲載しました。なお、誤字、脱字などは訂正しています。

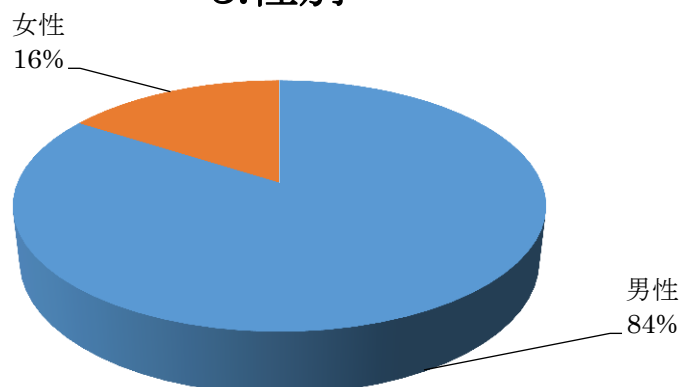
1.お住まい



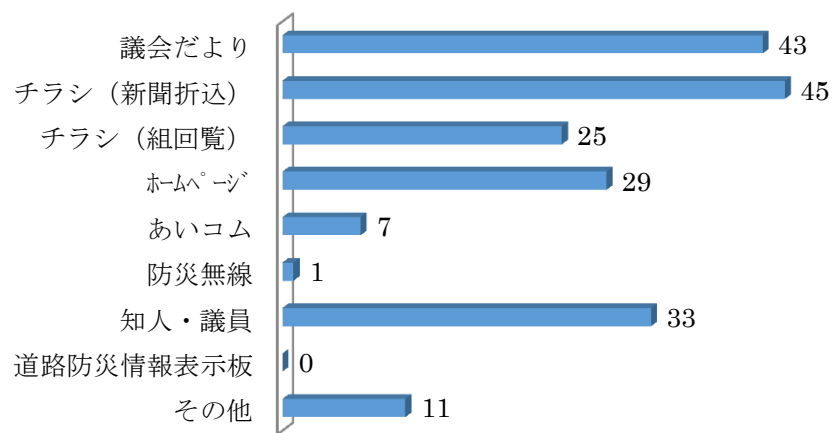
2.年代



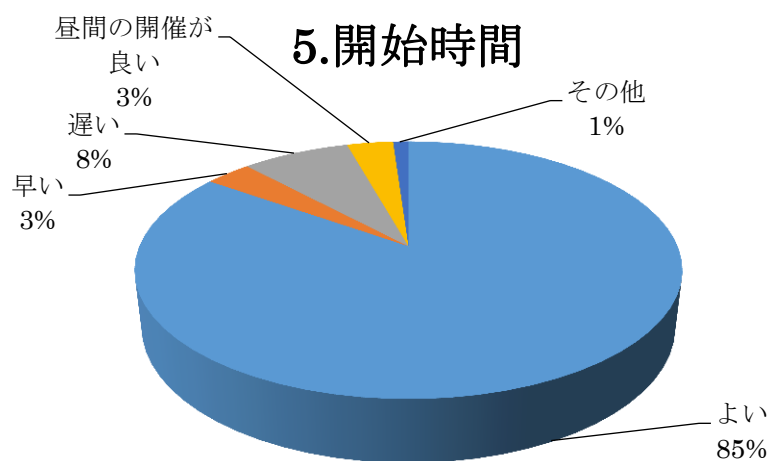
3.性別



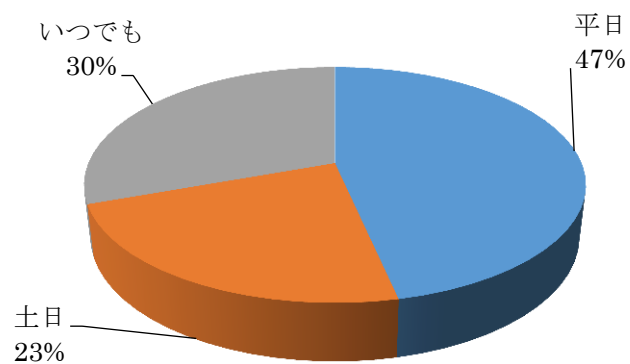
4.何でお知りになりましたか

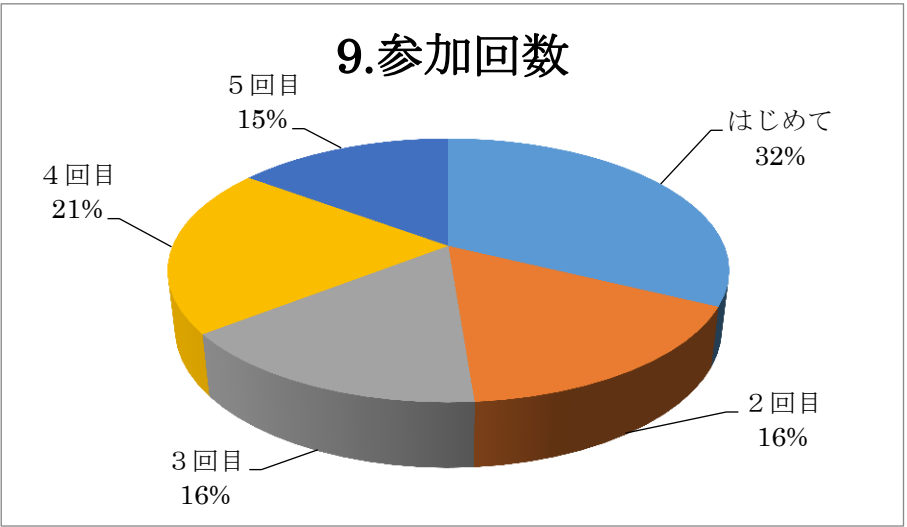
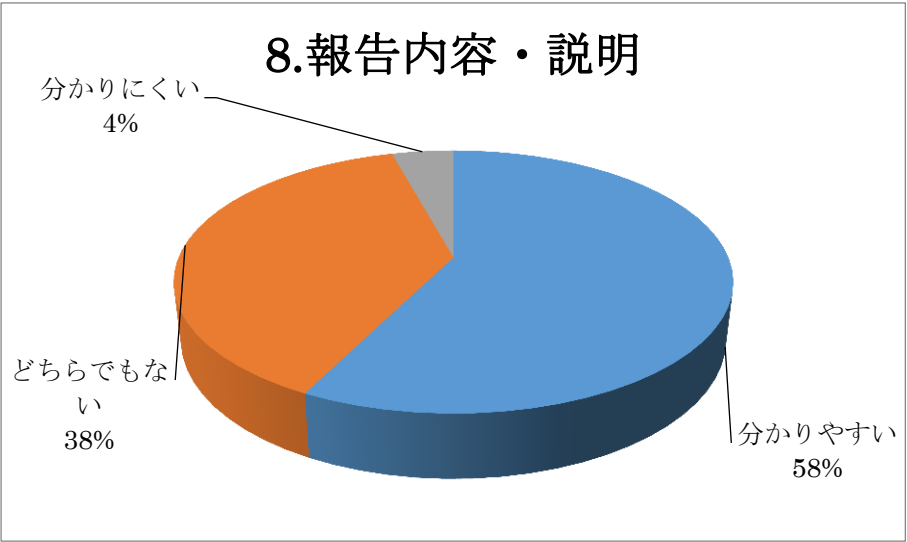
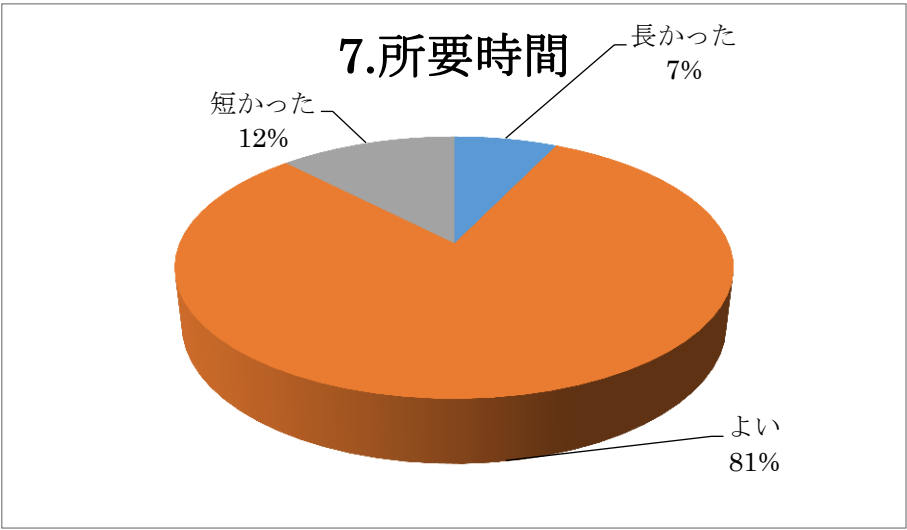


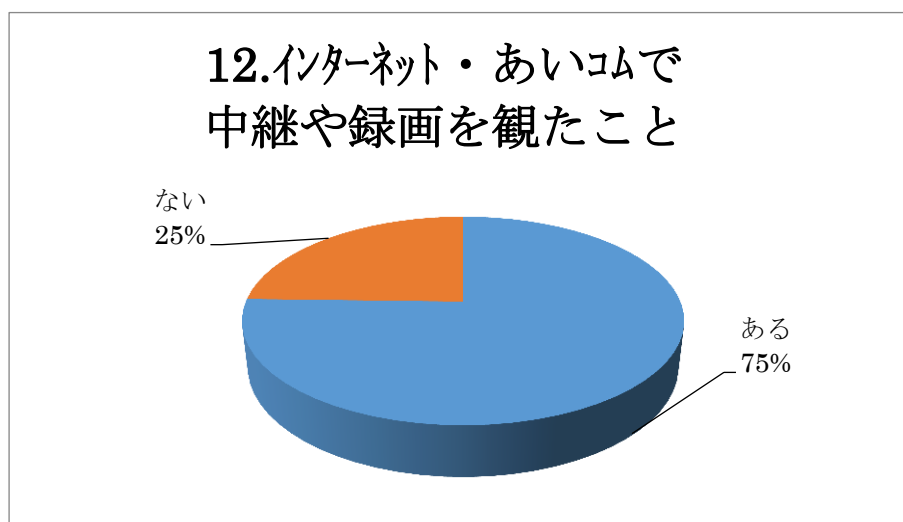
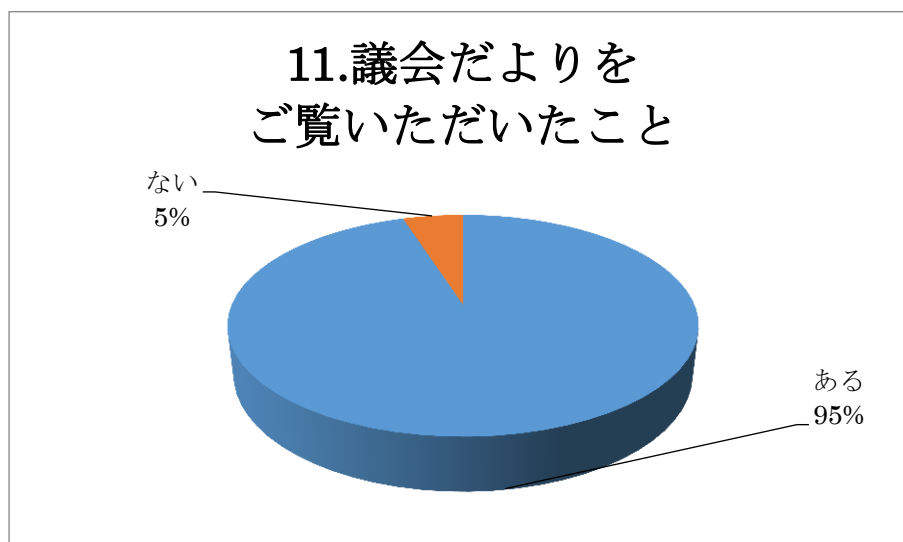
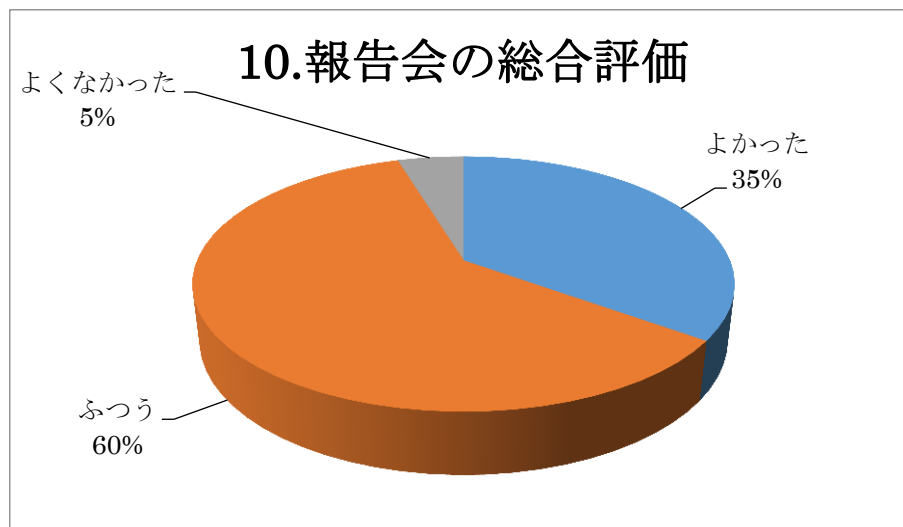
5.開始時間



6.開催曜日







＜ご意見・ご要望・お気づきの点＞

- ・資料の字も大きく見やすかった。また、各議員の説明もわかりやすかった。もう少し詳しい説明があってもよかった。
- ・資料や数値の読み上げが多かったのでわかりにくかった。
- ・高齢者の交通事故の対策はどうなっているのか。市のメイン道路はどこか。忍者の件はまだまだ初歩。伊賀では大学が先頭に立ってやっている。
- ・議会報告会は議員に対して意見を聞く場として大変有意義だと思います。今後も続けてください。
- ・開かれた市政をお願いします。
- ・甲賀市の玄関駅を構築してほしい。
- ・内容が多いこともあり、少し説明が早かったように思いました。
- ・参加者が少なく残念。
- ・議員の方が直接市民の声を聞く機会がよい。
- ・質疑応答で、出来る限り多くの人に質問してもらうため一人3分に限ったのは良い方法だと思う。
- ・甲賀の國づくりプロジェクトの説明があったが、事業名のみで内容がわからない。
- ・議会活動を周知するよい機会なので、区長や自治振興会に案内してもよいと思う。公民館や図書館の掲示板の活用も考えては。
- ・議員と市民との対話は重要です。今後も続けてください。
- ・開かれた議会ということで直接市民と対話される機会は大切だと思います。ただ、一部の方の意見だけで時間が過ぎてしまうのは残念でした。
- ・パワーポイントを使用しての説明はよかった。
- ・資料を棒読みではだめです。肉付きのある言葉で説明してください。
- ・住民の思っていることを議員の方々に聞かれる機会としてよいと思う。
- ・一人で発言されている方がおられ残念。この報告会は個人の考えを主張する機会ではないことに気付いてほしい。
- ・それぞれ立場の違う議員が同じスタンスで説明するのは難しいのでは。報告はともかく質疑においては特に。立場を明確にして質問に答える方がわかりやすいのでは。
- ・今後も市民の思いを市政に反映いただけることを期待します。
- ・議員の皆さんが市民への報告をいかに伝わりやすくするかとお考えいただきながら資料を整えて説明されるという前向きな姿勢、各議員が協力して進められたことを大変ありがたく感じました。
- ・質疑応答では市民の質問に対して大体はお答えいただけてよかったと思います。
- ・要望事項は議会だけでなく市政にも広げてほしい。

- ・予算決算の金額のみで事業推進への流れ、今後の増減への説明が足りない。
- ・議会報告会の告知をもっとしてほしい。
- ・資料についてパワーポイントの内容だけでなくもう少し詳しく記入いただきたい。
- ・議会報告会である以上、個人も責任を持って回答すべき。
- ・行政側はわかりやすい説明をしてほしい。だらだらと読んだり、早口で話さないなど言葉はていねいに。
- ・所々に難しい言葉が使われていたので出来るだけわかりやすい言葉を使っていただきたい。
- ・決算報告の指標は説明されても理解しづらい。
- ・特定の議員に聞きたいことがあったので残念。司会者も欠席理由を初めに言うべき。
- ・有意義な報告会でした。

＜市議会全般についての意見＞

- ・市議会だよりNo.48より一般質問の答弁者が市長・〇〇部長からAとなったが、以前のようにされた方が答弁者の顔を思い浮かべて読むことができますので戻されるよう希望します。
- ・チェックも重要。それも併せて発展的な市政運営にご尽力をお願いします。
- ・議員の方と意見を交わせる機会があるのはとてもいいことだと思います。何かテーマを出してそれについてシンポジウム、ディベートのような形もおもしろいと感じました。
- ・初めて参加して大変良かった。途切れることなく細く長く続けてください。大変だとは思いますが応援しています。
- ・参加者が少ないため、女性や子育て世代など、一定の層に焦点を当て、その方たちにわかりやすくより深い内容で説明いただければと思う。
- ・報告会も回を重ねるごとに進歩が必要です。多くの市民に来てもらえるように検討、考察をお願いします。
- ・住みよい街にしてください。
- ・市議会も市長も遠い存在であり、そういう意味で生の声が聞けてよかった。
- ・良い意見交換です。地道に長く続けて下さい。
- ・議員自らが成果を提案してほしい。人の批判ならだれでもできます。
- ・市民が選んだ市長です。賛否色々あると思いますが意見討論してほしい。
- ・決算特別委員会の流れを説明してほしかった。
- ・議員のSNSの発言は気をつけた方がよい。

- ・各地域市民センターの長が権限を持つようにすることが最善と考える。
- ・時間が短かった。
- ・市民の要望事項に対しての回答が少なく、対応の可否は早く報告がほしい。
- ・インターネット、あいコムでの告知では末端には伝わらない。
- ・議会の傍聴に行くのでおおよそでよいので予め時間を教えてほしい。現場の方が迫力がある。
- ・あいコムこうかが受信できない家庭が半数あるので、市の行事の発信を市のホームページで情報発信してほしい。
- ・具体的な政策を。
- ・どの自治体もファミリーの転入を進めているが、単身の方も優遇したら自然と結婚、定住も増えるのではないかと思います。
- ・セーフコミュニティとなり、誰一人もれなく幸せが感じられる甲賀市となるように市政に対し議員さんだけがたよりです。
- ・議会報告会の内容は議会側で報告すべき内容に広く市民の希望を聞いた事項も加えてはどうか。
- ・確実な情報を得たいと思い質問しました。
- ・市長選のしこりについて話しておられる人がありましたが、考え方の柔軟性を持たないといけない。

5. 各会場の写真

(1) 土山開発センター



(2) 貴生川公民館



(3) かふか生涯学習館



(4) 甲南公民館



(5) 水口社会福祉センター



(6) 信楽開発センター

